

# 七 不 思 議

(三)

## 第五 偽善保育と貧弱者の養成

日は春めいて何となく生々とした心地の一日と朝、〇〇幼稚園を參觀に出掛けた。園長はやせ形でどことなく衰弱症ではあるまいかと思ふ顔色、沈着にして態度の正しさ、部下の保母さん方が一々の挨拶振りは、園長の型と相似て居る。園長さんが部下に命せられる言葉の柔かなうちに嚴なる併し陰氣勝ちなるは、少しく飽き足らぬ所があつた。

會集には第一に姿勢を直し、二三の幼兒に注意を與へて、君が代二回、中途でやり直しが三回に及んだ。

一同をまわりの腰掛に坐せしめて、一の組の遊戯半ばで、又々園長さんの注意。淳々として説かるる所は宗教家に非んば儒者の弟子を導くが如く、幼兒は人形の如く、きちんとして居る。但し小さい目は不従順の働く様に見える、他の組の幼兒は

み な と

此の長い間膝に手を置いて、あくびを殺して居る。年少の一名が泣きかけた、保母さんの一人がそばへ行つて、口が少し動いたと思ふと泣きやむだ。各組がかくして交代に出て演ずる。まあよく辛抱の出來たものだ。と感心の外は無かつた。

自由のお遊びとなつたが、他園で見る様に一向駆け廻らぬ。笑ひ聲も出ない。ちりんくとなるとすぐにきちんと一齊におならびが出來て、お部屋へ入る。保母さんのすぐ後ろの幼兒が舌を出す。他の幼兒と顔見合はせて手まねで話しをする。保母さんの身振りをまねる。先生が幼兒の方を見渡すと幼兒は早くもきちんとつて、知らぬ顔の半兵衛さん。

談話の時間。實に乾燥無味でしかも年少の組でも道德味の含まれた寧ろ修身談。そこで姿勢を八ヶ間敷云はれる。小兒の心を察して見ると參觀し

ては居られぬ位。丸で人形を並べた様。自由のお遊でも室内の時も實に靜肅で、どうも物足らぬ事夥しい。

ふと氣が付いて幼兒の血色を見ると、園長さんの感化の偉大なる、顔色迄及んで居る。後ろ姿は時ならざるに秋の淋しさを感ずる位。晝食の參觀もそこ〜にして、園長の御意見を伺ふことにした。

曰く、人は幼年より嚴格に育てねば後世恐るべき害を殘します。我儘を省みぬ園も随分あります。が實に危険です。私の友人のうちでも私の主義に對しいろ〜と忠告してくれますが、私は私の主義をどこまでも確信して居ます。

嗚呼危険なかな幼稚園の制度。前には放任の園を見、今は嚴酷なるを見る。

偽善、表裏明らかに幼兒の動作に見えた。大切なる第二の國民を誤つた自分の主義に育て、いぢけた、陰氣なしかも偽善な人間にしてしまふ。幼

兒の味方となつて、潑刺たる元氣と春の如き面貌と、嬉々して戯るゝ姿を見んとて來れる私の腦裡に、此有様の映した時の不快さ、殺人犯を目前に見る如き感が起つたので、一片の苦言を呈して倉皇として辭した。

十町も隔てぬ〇〇幼稚園へと飛込んだ。もうやり切れぬから助けて貰ふ積りで入つた。二三の幼兒は玄關で遊んで居て私の姿を見ると奥へかけ込んだ。「先生お客さま。」先生奥の方で、「どうもありがたう」と受けて出て來られた。案内せらるゝまゝに應接所に入つた。今は食後のお遊び。園兒は八十名、お室の内で三々伍々話しをして居るのもあり、まりをついて居るのもある。遊園はと先生に伺ふと目の前にある。私はあまり狭いので他にありと思ふて居たので面喰つた。保育室が一つと小さな遊戯室が一つ。遊戯室の片隅に大きな机が二つと長い五人掛の腰掛が五つ。ちりん〜お室へ這る。遊戯室は保育室兼用であつた。一組は積

木、一組は摺紙、實に舊式で年代付き、運動場には、六尺に三尺の砂場が淋しさうに番をして居る外何もない。お室から廊下迄隈なく見ても玩具は唯々三尺の低い戸棚に間ばらに列べてあるのみであつた。やがて歸りの時が來ると、先きを争つて廁へ行く、其様子の如何にもいぶかしいので、後について行つて見ると、男子の方が二人分、女子の方が二人分、まゝこれで八十人がと驚いて、立つて居る幼兒を見ると待ちかねて居る様は目もあてられぬ。何たる不都合な親。何たる不幸の子。今日は如何なる吉日否凶日か見る園が皆此如し。

二人の保母さんにいろ／＼お尋ね(遠慮しつゝ)をして見ると、一つも要領どころか一切空、保母さんと此園の設備とよくも似通つたものよ。幼兒も定めて貧弱症に罹つて居るのでせう。

## ○玉成保母養成所卒業式

玉成保母養成所にては三月廿六日午後三時より麴町區上二番町三六所長ソファヤ・アラベル・アルウキン女史邸に於て、その第一回卒業證書授與式を舉行しました。式は定刻より、奏樂、君が代、合唱、勅語捧讀、卒業生合唱(旅の花と摘草)、卒業證書授與、牧野男爵の祝辭演説、卒業生二名のピアノ連彈、卒業生一同の感謝の歌といふ順序で華やかに而かも肅然と執り行はれました。式後には内外人多數の來賓が式場と食堂と成績品展覽室とに錯雜して、アルウキン女史にお祝ひの言葉を申述べて居りました。卒業諸嬢の成績品の孰れも美事な出來榮であつたことは申すまでもありません。今回の卒業生の總數は十一名ださうであります。第一回の卒業生をして是だけの成績を挙げしめられた所長アルウキン女史の御苦心の程も偲はれて床しい卒業式で御座いました。(記者)